



●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行いません。交付場所は＜西合志庁舎＞健康づくり推進課です。また、健康育児相談時も交付しています。1月19日(火)ふれあい館、2月10日(水)泉ヶ丘市民センターです。日程は健康づくり事業計画表に掲載していますのでご参照の上お越しください。印かんと産婦人科から妊娠届出書をお願い、ご持参ください。

●熊本県小児救急電話相談事業

相談時間
毎日・夜間
午後7時～午前0時
☎#8000
(ただし、ダイヤル回線・IP電話・光電話からは☎364-9999)

予防が大切です!

麻しん、風しんにかかると...

<麻しん>

感染力が強い病気です。ウイルスに感染した後、約10～12日間の無症状の期間を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出てきます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しんが出て、熱も高温となり、発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。大変うつりやすく、免疫がないと誰でもかかります。麻しんにかかると肺炎や脳炎を引き起こす場合があります、1,000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。

<風しん>

軽いかぜ症状で始まり、発熱、発しん、目の充血、関節痛などが主な症状です。おおむね3日で熱が下がるので「三日ばしか」と呼ばれますが、軽い病気ではなく、大きいお子さんほど症状が重くなります。

【先天性風しん症候群】

妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により心臓病、白内障、聴力障害などの障がいを持った赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。

予防接種は体調の良い時に受けましょう!!

はたちの献血キャンペーンにご協力を!



献血者が減少しがちな冬期は、輸血用の血液不足が起きやすい季節です。このため、熊本県では1～2月の2カ月間、成人式を迎える「はたち」の若者を中心に多くの県民の皆さんに献血の呼びかけを行なっています。あなたの温かい気持ちを分けてください。

10代、20代の若者の献血者数が年々、減少しています。
はたちのあなた、一度、献血体験をしてみてください。

主催 熊本県 日本赤十字社熊本県支部

予防接種

麻しん・風しん

混合(MR)ワクチン接種はお済みですか?

平成21年度麻しん・風しん混合(MR)ワクチン予防接種(2～4期)の接種期間は、3月31日までとなります。幼児期に接種した麻しんワクチン・風しんワクチンの追加接種です。母子健康手帳でもう一度確認し、対象者で接種が済んでいない人は、早めに接種してください。

対象者

MR2期・・・平成22年4月に小学校へ入学する人(平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ)
MR3期・・・中学校1年生に相当する人(平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ)
MR4期・・・高校3年生に相当する人(平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ)
(3期・4期は平成20年度からの5年間の制度となります)

接種回数 1回

接種料金 無料(全額、市負担) ※3月31日を過ぎると、全額自己負担になります

市委託医療機関 ※事前予約が必要です

大森医院	☎248-0003	成松内科医院	☎345-5151
宮川内科医院	☎248-2155	山下胃腸科クリニック	☎345-0600
みやの小児科	☎248-5800	まつもとこどもクリニック	☎338-8960
いけざわこどもクリニック	☎242-6633	産科婦人科大竹クリニック	☎344-3232

医療機関に予約し、予診票と母子健康手帳を持参のうえ接種してください。

※対象者には平成21年4月に予診票を郵送でお送りしています。予診票を紛失したり、転入してまだ接種していない対象の人は、健康づくり推進課までご連絡ください。

※接種方法など不明な点がある時は、ご連絡ください。

現在の接種率(平成21年4月～9月)

MR2期	MR3期	MR4期
66.2%	59.7%	44.9%